

ふれあい

保護者向け
山口県教育広報誌

2005年23号

CONTENTS

- 特集:子どもたちの豊かな心を育てましょう
- 特集:よりよい高校づくりをめざして
- 特集:児童生徒のインターネット利用状況調査
- 輝け!若きスポーツ指導者 ~光高等学校 橋本先生~
- 教育相談のお知らせ
- ふれあい交差点
- 山口県特別支援教育ビジョン(案)に対する意見の募集について
- 教育相談コーナー
- 「ボランティア活動推進フォーラム西日本大会」お知らせ
- ふれあい掲示板



夢通信

~子どもたちの豊かな心を育てましょう~



県教育委員会では、次代を担う子どもたちの豊かな感性や創造性をはぐくむために、子どもたちの文化環境づくりをすすめます。



学校にオーケストラがやってきた!!!

関西フィルハーモニー管弦楽団による演奏会が、9月に下関市立長成中学校と県立山口中央高等学校で開催されました。山口中央高等学校では管弦楽部の生徒たちが関西フィルハーモニー管弦楽団と共演しました。

関西フィルハーモニーと共演することを聞いてからは、どんなに練習しても不安を消すことはできませんでした。リハーサル中や本番前はとても緊張しましたが、プロの方が隣で「大丈夫。自信を持って、楽しんでしっかり弾こう。」と励ましてくださり、すごくなりました。演奏中はとても楽しくて、プロの方と共演できて本当によかったと思いました。練習の成果が出たかどうかは無我夢中で分かりませんが、本当にいい体験になりました。
(県立山口中央高等学校2年女子)

僕はテレビで何度かオーケストラの演奏を見たり聴いたりしたことがありますが、生で見たのは今回が初めてでした。やっぱり本物はすごいと思いました。何曲か家で聴いたことがあって知っていました。でも生で聴いた方が比べものにならないくらい迫力があって、あの曲と違うのかなと思うくらいすばしかったです。また機会があれば聴いてみたいと思いました。とても感動した1日でした。
(下関市立長成中学校1年男子)



県教育委員会では、日常生活の場である学校にオーケストラや合唱団、劇団を招き、鑑賞するだけでなく、一緒に演奏や演技をすることによって、舞台芸術のすばらしさを味わうことができる機会を提供します。



中学校総合文化祭が初めて開催されました!!!

県内の中学生が幅広い文化活動に接して互いのよさを味わい、文化活動のさらなる質の向上を図ることを目的として、4月に山口県中学校文化連盟が設立されました。

これを記念して、去る11月12、13日には防府市において中学校総合文化祭が初めて開催され、県内各地から中学生が一堂に会し、すばらしいステージや作品を発表しました。

来年度の中学校総合文化祭は、11月に宇部市で開催される予定です。



公会堂では、養護学校の生徒の皆さんのすばらしい絵画作品をはじめ、各支部からの力作が展示されており、生徒の皆さんの真剣に制作する様子が浮かんでいました。3階の読書感想画や読書ノートにも多くの人が見入っていました。アスピラートの展示では、1階の作品に道行く多くの人足を止め、3階の技術・家庭の作品に囲まれると、お店の中に入ったような雰囲気心がわくわくしました。展示全体を通して、中学生のパワーをしっかり感じることができました。
(防府市中学校美術科教員)

今回の文化祭の舞台で、山頭火の句について市内の中学生から募集した鑑賞文を朗読させていただきました。本番では山頭火のふるさとへの思いが伝わるように、詩の情景を思いうかべながら一文一文大切に心を込めて読みました。
この発表を通じて、人に何かを伝える楽しさを知ると同時に、ふるさとの偉人山頭火の作品に初めて触れ、私自身ふるさとについて見直す機会ともなり、同じ防府に住んでいるということ改めて誇りに思えるようになりました。
(防府市立国府中学生3年女子)



娘が参加しましたので、見に行きましたが、各校の演奏や表現、発表はとても素晴らしく、楽しませていただきました。また、会場のロビーには、さまざまな研究物や作品が展示されており、興味深く見て回りました。
日頃、文化活動の発表や交流、情報交換の機会が少なかった中学生にとって、この総合文化祭は、一つの大きな目標になることでしょう。残念ながら、娘は来春卒業してしまいますが、最後に最高の機会を与えていただいたことをうれしく思いました。
(山口市在住保護者)



県教育委員会では、子どもたち一人ひとりが文化芸術に親しみ、それぞれの個性や感性を磨きながら交流することを通して、文化活動が活性化していくよう支援します。



図書館や美術館、博物館に行ってみませんか。また音楽会や舞台芸術を鑑賞するなど、普段から多彩な文化に触れる機会を持つようにしましょう。※美術館や博物館のイベントについては、ふれあい掲示板をご覧ください。

国民文化祭やまぐち公式ポスターができました。

このたび、来年11月に県内各地を会場として開催する「国民文化祭やまぐち」の公式ポスターを作成しました。公式ポスターのデザインは、林誠樹さんの作品。県内のデザイン関係者からの応募作品45点の中から選ばれました。デザインは、開催県山口を全国にアピールするため、大内文化のイメージから「雅」をキーワードとし、国民文化祭の開催を契機に、未来へ羽ばたき、将来につなげていく願いを込めて「翼」をモチーフにしています。また、県民総参加による手作り「みんなで作る」という観点から、国民文化祭の開催準備に携わっている方々の「てがた」を貼り付けています。
このポスターは県内外に配布し、積極的に国民文化祭をPRしていきます。また、県内各地に広告塔の設置をはじめ、県総合庁舎や開催市町の庁舎等に横断幕や懸垂幕を掲げていきます。

問い合わせ先

<第21回国民文化祭山口県実行委員会事務局> 〒753-8501 山口市滝町1-1 山口県政資料館2階
TEL/083-933-2850 FAX/083-933-2859 ホームページ/http://www.kokubun-yamaguchi.jp/



よりよい高校づくりをめざして～県立高校の再編整備～

よりよい高校づくり

山口県教育委員会では、特色ある学校づくりを推進し、選択幅の広い教育の推進や活力ある教育活動の展開、多様な人格とふれ合うことによる豊かな人間性や社会性の育成など、高校教育の質をより高めていくために、望ましい学校規模（1学年4～8学級）の確保をめざし、学校・学科の再編整備に取り組んでいます。

再編整備の進め方

再編整備計画を4年単位で策定し、生徒の入学状況の変化等に応じて、2年毎に見直しをしていきます。各年度の実施分は、中学生への早期の情報提供のため、原則として入学定員発表前に公表します。

再編整備のめざす方向

全日制課程

普通科系の学科

生徒の多様なニーズに対応し、教科・科目などの選択幅が拡大できるように、1学年3学級以下の学校については、普通科同士や普通科と専門学科との再編統合により学校規模の拡大を進めます。

専門学科

主体的に社会に貢献できる将来のスペシャリストを育成するとともに、生徒の多様な進路希望等に対応した選択幅の広い学習ができるよう、異なる学科間の再編統合に取り組めます。

総合学科

普通科目から専門科目まで、学びたい科目を主体的に選択して学習できる多様な教育課程を編成するとともに、生徒の多様な学習ニーズに対応した新たな教科・科目を開発するなど、系列の充実を図ります。

定時制・通信制課程

定時制課程

近隣の学校間で段階的な統合を図るなど、地域バランスに配慮した適切な配置を検討するとともに、生徒が自分の生活時間に合わせて受講できるように、昼間部の増設を検討します。その際、夜間部との併設による独立校の設置についても検討します。

通信制課程

定時制課程独立校の設置を検討する中で、定時制課程と通信制課程の併設について検討します。

選択幅の広い教育

確かな学力をしっかりと身に付ける学校

活力ある教育活動

将来のスペシャリストの育成をめざす学校

多様な人格とのふれあい

生徒の多様な学習ニーズに応える学校

柔軟な学びのシステムを備えた学校

より質の高い高校教育の展開

生徒一人ひとりの夢の実現

平成18年4月 柳井・徳山・萩商工高等学校 開校

柳井、徳山、萩の商業高校と工業高校をそれぞれ統合して新たに「柳井商工高等学校」「徳山商工高等学校」「萩商工高等学校」を開校します。

学校名	学科及び定員
柳井商工高等学校 (柳井工業高等学校校地内) TEL.0820-22-5533	会計ビジネス科 40
	情報ビジネス科 40
	機械・制御科 40
	建築・情報科 40
徳山商工高等学校 (徳山工業高等学校校地内) TEL.0834-28-0026	総合ビジネス科 40
	情報ビジネス科 40
	機械科 40
	情報技術科 40
萩商工高等学校 (萩工業高等学校校地内) TEL.0838-22-0034	総合ビジネス科 70
	国際情報科 35
	機械科 35
	電気科 35
	建設工学科 35



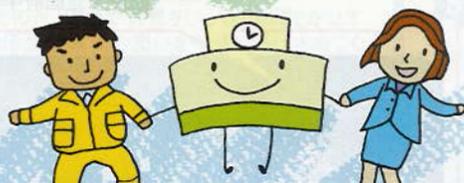
商業や工業の専門性を高める教育の充実

各専門分野を系統的に学習し、スペシャリストとして必要な知識や技術を身に付けます。



選択幅の広い教育の推進

異なる学科の専門科目を選択することで、より幅広い知識や技術を身に付けることができます。



地域社会や企業と連携した教育の充実

インターンシップなど、地域社会や企業と連携したより実践的な教育を行います。



活力ある学校行事や部活動の展開

活力ある各種行事や部活動を展開します。

校歌（歌詞）及び校章を募集しています。

応募締切り：平成17年12月28日（水）（当日消印有効）詳細は各学校へお問い合わせください。ホームページにも公開しています。
ホームページ▶ <http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/gyosei/kyoshoku/syoukou/bosyu.htm>

平成19年度～平成21年度の再編整備

次のような再編整備を予定しています。

計画の進め方

計画の推進にあたっては、今後、小・中・高等学校の保護者など関係者の意見も聞きながら、具体的な学校づくりについて検討してこれに取り組むとともに、その検討状況や生徒の入学状況の変化等を踏まえ、2年毎に見直す計画において、必要に応じてその実施時期・内容等に反映させます。

再編統合

- 安下庄高校と久賀高校
- 大嶺高校と美祿工業高校
- 大津高校と水産高校
- 厚狭高校については北校舎と南校舎を統合

- 生徒の多様なニーズに対応した選択幅の広い教育や活力ある教育活動の展開などを推進します。
- 各学校が行ってきた普通科及び専門学科の教育機能を統合後の学校においても維持しながら、異なる学科間の科目選択を可能にするなど、より充実した教育を推進します。

本校として維持が困難な場合は分校化

- 坂上高校
- 広瀬高校
- 鹿野高校
- 佐波高校
- 徳佐高校

- 生徒にとって魅力ある学校づくりを進めるとともに、入学状況などを見ながら、最小学校規模（1学年2学級）の確保が見込まれない場合には、分校化に取り組めます。
- 新たに設置する分校については、本・分校間での教員の交流や学校行事等の合同実施など、本校との連携による新たな教育活動の展開に努めます。

分校の募集停止

- 田布施農業高校大島分校
- 熊毛南高校上関分校
- 徳佐高校高俣分校
- 奈古高校須佐分校

- 地元中学校卒業者の入学状況や今後の入学者数の見込みを見極めた上で、生徒募集の停止を行います。その実施時期については、中学生の進路選択に配慮し、できるだけ早期の情報提供に努めます。

「県立高校再編整備計画」の全文はインターネットのホームページでご覧いただくことができます。
【ホームページ】<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/gyosei/kyoshoku/keikaku/keikaku3.htm>

問い合わせ先 教職員課高校改革推進班
TEL.083-933-4554 FAX.083-933-4569

重

児童生徒のインターネット利用状況調査

児童生徒のインターネット利用状況調査の内容

【調査対象】 県内の小学5年生、中学2年生、高校2年生及びその保護者（各学年約1,000名）

【回収状況】 児童生徒、3,172名（回収率 94.9%）
保護者 2,757名（回収率 82.5%）

【調査時期】 平成17年7月29日～9月9日

問い合わせ先

教育庁教育政策課
TEL/083-933-4531 FAX/083-933-4539

インターネットの普及が急速に進み、子どもたちの学習や生活の中でごく日常的に利用されるようになってきましたが、一方で、有害情報やネット犯罪の増加、人間関係の希薄化、疑似体験の問題など、子どもたちに及ぼすマイナス面の影響が心配されています。

このため、情報モラルについての指導等の充実を図るため、児童生徒のインターネットの利用実態等について調査を行いました。

利用環境	<ul style="list-style-type: none"> ●インターネット接続のパソコンの世帯保有率は、全体で71% ●携帯電話の保有率は、小5で1割、中2で3割、高2では9割以上 																										
利用状況	<ul style="list-style-type: none"> ●パソコン又は携帯電話でのインターネットの利用割合は、小5で49%、中2で72%、高2で93%で、全体でも7割を超える（全回答者比） ●ほぼ毎日1時間以上利用している割合は中2で2割近く ●小5はホームページの閲覧かゲームが中心、中2からはメールやチャット・掲示板、ショッピングなど利用内容が非常に多様化 ●中2以上では半数以上がいつも自分一人で利用 ●ほぼ毎日インターネットを利用しているのは、高2で3割以上 ●音楽等のダウンロードが最も多いが、小5ではゲーム、中2以上では、チャットや電子掲示板、ショッピング等が増加 ●ほぼ毎日メールを利用しているのは、中2以上で7割以上 	<p>●パソコン又は携帯電話によるインターネットの利用状況</p> <table border="1"> <caption>●パソコン又は携帯電話によるインターネットの利用状況</caption> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>パソコンのみで利用</th> <th>携帯のみで利用</th> <th>どちらも利用</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>35.7%</td> <td>11.7%</td> <td>23.3%</td> <td>70.7%</td> </tr> <tr> <td>小5</td> <td>45.0%</td> <td>2.2%</td> <td>2.1%</td> <td>49.3%</td> </tr> <tr> <td>中2</td> <td>47.5%</td> <td>10.5%</td> <td>13.8%</td> <td>71.8%</td> </tr> <tr> <td>高2</td> <td>11.8%</td> <td>23.4%</td> <td>57.7%</td> <td>92.9%</td> </tr> </tbody> </table>	学年	パソコンのみで利用	携帯のみで利用	どちらも利用	計	全体	35.7%	11.7%	23.3%	70.7%	小5	45.0%	2.2%	2.1%	49.3%	中2	47.5%	10.5%	13.8%	71.8%	高2	11.8%	23.4%	57.7%	92.9%
学年	パソコンのみで利用	携帯のみで利用	どちらも利用	計																							
全体	35.7%	11.7%	23.3%	70.7%																							
小5	45.0%	2.2%	2.1%	49.3%																							
中2	47.5%	10.5%	13.8%	71.8%																							
高2	11.8%	23.4%	57.7%	92.9%																							
有害情報	<ul style="list-style-type: none"> ●パソコン又は携帯電話による有害情報の閲覧経験は、小5で5%、中2で15%、高2で32%で、全体でも17%にのぼる（全回答者比） ●アダルトや出会い系、他人の悪口等が多いが、携帯電話では特に出会い系サイトへの接触が多い（中2の16%＜利用者比＞） ●有害情報に対する取組みをしている家庭は、小5の7割から高2では4割未満に減少。フィルタリングサービスの導入率は1割前後 <p>有害情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ●アダルト画像やビデオ ●他人の悪口や誹謗中傷の情報 ●出会い系の情報 ●犯罪をそそのかす情報 ●暴力や虐待の描写や画像 ●爆発物や毒物、麻薬などの情報 	<p>●パソコン又は携帯電話による有害情報閲覧経験</p> <table border="1"> <caption>●パソコン又は携帯電話による有害情報閲覧経験</caption> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>回答者全体中</th> <th>インターネット利用者中</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>17.0%</td> <td>24.0%</td> </tr> <tr> <td>小5</td> <td>5.1%</td> <td>10.4%</td> </tr> <tr> <td>中2</td> <td>14.9%</td> <td>20.8%</td> </tr> <tr> <td>高2</td> <td>32.4%</td> <td>34.9%</td> </tr> </tbody> </table>	学年	回答者全体中	インターネット利用者中	全体	17.0%	24.0%	小5	5.1%	10.4%	中2	14.9%	20.8%	高2	32.4%	34.9%										
学年	回答者全体中	インターネット利用者中																									
全体	17.0%	24.0%																									
小5	5.1%	10.4%																									
中2	14.9%	20.8%																									
高2	32.4%	34.9%																									
嫌な思いや迷惑	<ul style="list-style-type: none"> ●パソコン又は携帯電話による嫌な思いや迷惑の経験は、小5で3%、中2で11%、高2で17%で、全体では約1割（全回答者比） ●メール関係（迷惑・デマ・チェーンメール等）や悪口等が多いが、金銭面のトラブル（架空料金の請求等）も、中2から急増 ●このうち、4～6割の子どもが誰にも相談していない（パソコン） 	<p>●パソコン又は携帯電話による嫌な思いや迷惑を受けた経験</p> <table border="1"> <caption>●パソコン又は携帯電話による嫌な思いや迷惑を受けた経験</caption> <thead> <tr> <th>学年</th> <th>回答者全体中</th> <th>インターネット利用者中</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全体</td> <td>10.2%</td> <td>14.4%</td> </tr> <tr> <td>小5</td> <td>2.7%</td> <td>5.5%</td> </tr> <tr> <td>中2</td> <td>11.2%</td> <td>15.6%</td> </tr> <tr> <td>高2</td> <td>17.1%</td> <td>18.5%</td> </tr> </tbody> </table>	学年	回答者全体中	インターネット利用者中	全体	10.2%	14.4%	小5	2.7%	5.5%	中2	11.2%	15.6%	高2	17.1%	18.5%										
学年	回答者全体中	インターネット利用者中																									
全体	10.2%	14.4%																									
小5	2.7%	5.5%																									
中2	11.2%	15.6%																									
高2	17.1%	18.5%																									
保護者の認識	<ul style="list-style-type: none"> ●利用頻度や内容で、子どもたちの利用実態と保護者の認識に大きなズレ（例）学習でのホームページ閲覧 中2:39.2%（保護者の認識 60.7%） ●携帯電話の場合、利用内容をよく知っている親は、小5の半数から高2では16%に減少 																										
保護者の不安	<ul style="list-style-type: none"> ●保護者の8割近くが何らかの不安を感じており、特に有害情報との接触や勉強・生活への影響を危惧 																										

●携帯電話の普及もあって、子どもたちのネット利用は、日常化・習慣化し、様々な有害情報やネット被害に遭う危険性も増大していますが、保護者の意識や関与については、未だ低い状況となっています。

●子どもたちにインターネットを利用する際のモラル・マナーやネット被害に関する正しい知識を身に付けさせるため、まず家庭において、次のような取組みを進めましょう。

- リビングなどできるだけ家族の目の届く場所にパソコンを置く。
- 子どもと一緒にインターネットを利用する時間をつくり、正しい利用の仕方について一緒に考えたり、話し合ったりする。
- 子どものネット利用について常に関心を持ち、利用の実態を把握する。
- 子どもと話し合いながら、利用内容や時間等について一定のルールをつくる。
- フィルタリングソフトやサービスを積極的に利用する。



参考

インターネットを利用する子どものためのルールとマナー集
「財団法人インターネット協会」
【URL】 <http://www.iajapan.org/rule/rule4child/a-index.html>

山口県警察サイバー犯罪相談窓口

【TEL】083-922-8983
【E-mail】 hightech.soudan@police.pref.yamaguchi.lg.jp

輝け！若きスポーツ指導者



ヨット 光高校
橋本健太郎教諭

第60回岡山国体でも総合成績6位という実績を残した*セーリング競技、成年種別においては日本でもトップレベルの選手や指導者が光市の山口県スポーツ交流村を中心として活動しています。彼らに続く次世代の選手を育成するため、今年度より県立光高等学校に地歴科の教員として採用され、ヨット部を指導している若き指導者がいます。

学生時代は選手として活躍し、今期国体では、成年男子の監督として、470級を優勝に導きました。

日頃は生徒達に対して、それぞれ自分のおかれている立場や状況を理解し、過ごし方や生き方について主体的に考え行動する力が付くように意識しながら指導しています。刻々と状況が変わる海相手のヨット競技においても、自分で考え、その時々でのベストの選択をして行動することが大切です。画一的な指導はしないようしています。

また、6年後の山口国体に向けて今後さらなる選手強化が必要ですが、ここ光の子どもたちが地元を拠点として技術や精神力を高め、国内のみならず世界で活躍してくれることをめざしています。

*セーリング…国体ではヨット(2人乗りまで)とウィンドサーフィンをあわせてセーリングと呼びます。現在、少年種別においてはヨットのみ実施されています。

※前号のジュニアスポーツクラブ体操競技の山口国体会場が「下関市」となりましたが「山口市」の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

教育相談のお知らせ

お気軽に何でも早めに
子どものことをご相談ください！

子どもたちを取り巻く環境が変化しています。子どもたちの心の中も見えにくくなっています。子どもに関わる悩み、不安、気になることなど、何でも相談や情報をお寄せください。

相談や情報はこちらへ…

- 最寄りの学校や幼稚園
- お住まいの市町村の教育委員会
- 県教育相談室……………☎083(933)4531
- いじめ110番……………☎083(923)2264
- ふれあいテレホン……………☎083(987)1240
- その他の相談窓口

学校・幼稚園を通じてお配りしている「相談窓口一覧」をご利用ください。



ふれあい交差点

人のかかわりを通して ～「ひまわりの会」とのふれあい～

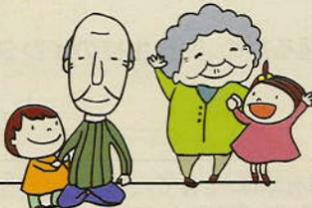


下関市立黒井幼稚園

本園ではいろいろな人々のかかわりを通して豊かな心をはぐくむ保育の実践に取り組んでいます。その一つに、一人住まいのお年寄り「ひまわりの会」との交流があります。今年も「ひまわりの会」のみなさんは、この日を楽しみに朝早くから来園されました。まずは自己紹介。それからリズム体操、ずいずいっこらばし等、手や体にふれる遊びをみんなで作りました。子どもたちと共に体を動かすことをたいへん喜ばれ、いつも「子どもたちから元気をいただく。」とおっしゃいます。

87歳の元気なおばあちゃんがきれいな声で歌われた「りんごの唄」には、みんなうっとり。給食では「おいしいねえ。きれいに食べようね。」とやさしい声をかけていただきました。子どもたちはお年寄りの温かさややさしさを感じとったに違いありません。最後に握手をしてプレゼントを手渡すと涙を流して喜ばれました。

このような体験は、いたわりや思いやりの心を育てていくと思います。これからも子どもたちの心の成長を願って、いろいろな人々のかかわり続けていきたいと思っています。



学校支援ボランティア活動 ～登下校時の安全パトロール～



柳井市 古賀慎二郎さん

「おじちゃん、おはよう」。安全パトロール中と書かれた黄色のシャツと帽子といういつものスタイルで通学路を巡回していると、元気な子どもの声が聞こえてきます。あー今日も子どもから元気をもらえたとうれしくなります。

柳井小学校の通学路を、朝7時前から8時すぎまで約1時間毎日巡回コースを替え、くまなく回っています。

不審者による事件が全国的に多発しており、学校からの依頼もあって、3年前から学校支援ボランティアとして登下校時の安全パトロールをしています。

現在、安全パトロールは保護者や主婦、元教員など12名で行っていますが、私は朝の登校の安全を見守ったり、地域の様子を把握したりすることを中心にしています。

孫を見送るおじいちゃん、おばあちゃん。子どもと一緒に登校する保護者。「おはよう、今日もさばりんさん。」と声をかける近所の人。「ご苦労さん。」の嬉しい一言。夏の暑さ、冬の寒さに負けないで毎日の巡回ができることに感謝し、子ども一人ひとりにやさしいおじいちゃんとして頑張りたいと思っています。



「山口県特別支援教育ビジョン(案)」に対する意見の募集について

山口県では、現在、山口県特別支援教育ビジョンの策定に向けて、「山口県特別支援教育ビジョン(案)」を公表していますので、皆様のご意見をお寄せください。

お寄せいただいたご意見は、十分に検討し、これに対する県の考え方とともに、それを踏まえ決定したビジョンの内容を公表いたします。

「山口県特別支援教育ビジョン(案)」は、ホームページ(山口県教育庁指導課)、県庁情報公開コーナー、各地方県民相談室でご覧いただくことができます。

意見の提出方法 様式は任意ですが、ご意見、住所、氏名、電話番号を記入し、郵送、ファックスまたは電子メールでお送りください。

意見の募集期間 平成17年12月15日(金)～平成18年1月16日(金)必着

意見の提出先 〒753-8501 山口市滝町1-1 教育庁指導課特別支援教育班

TEL/083-933-4607 FAX/083-933-4619

Eメール/a50300@pref.yamaguchi.lg.jp

教育相談コーナー

Answer

本 人の性格によって接し方に違いがあると思いますが、まずは、万引きは犯罪であり、絶対に許されないことを、毅然とした態度で話して聞かせることが大切です。また、迷惑をかけた人にきちんとお詫言をするなど、子どもが心から反省し、二度としないという自覚をもちますように。その上で、なぜそのようなことをしたのか、理由や背景をじっくり時間をかけて聞き、家庭生活や学校生活、友達関係など、本人の思いを十分に受け止めてください。そして、今回の件を本人が成長するためのチャンスだと捉え、家族どうにかかわりなどを親子で見つめ直して見てみてください。厳しく接する面と温かく見守る面の両面を大切に、長い目で子どもを育てていきましょう。

Question

小 学校4年になる子どもがコンビニで商品を万引きして捕縛されました。警察と学校の先生から、それぞれ厳しくも温かい指導をいただきましたが、親として、今後、子どもにどう向き合い、どうかわたがいでいけばよいか悩んでいます。よいアドバイスをお願いします。

ボランティア活動推進フォーラム 西日本大会 お知らせ

「ボランティア活動 その新しい可能性」

～子どもと大人の絆づくりをめざして～

地域社会全体でボランティア活動を推進していくためのフォーラムを開催します。ボランティア活動の新しい可能性について、一緒に考えましょう。

日時 平成18年1月15日(金) (10:30～16:00) **場所** ときわ湖水ホール(宇部市常盤公園内)

内容 【実践発表】地域ボランティア活動推進事業の実践発表
【シンポジウム】「地域で支える子どもたちのボランティア」をテーマと考えていきます。
【問い合わせ先】教育庁社会教育課
TEL/083-933-4626 FAX/083-933-4639

臨時閉館のお知らせ

県立山口図書館、点字図書館及び文書館は12月15日(木)から12月27日(火)まで臨時閉館します。臨時閉館中も、電話やファックス等での調査相談業務などは行っています。

開館は新年1月5日(木)からとなりますので、ご利用ください。

問い合わせ先

●県立山口図書館・点字図書館
TEL/083-924-2111 FAX/083-932-2817
●文書館
TEL/083-924-2116 FAX/083-924-2117

県立山口高等学校通信制課程の生徒募集

願書受付期間 3/27(土)～4/4(土) (土・日曜日は除く) 午後1:00～2:00
募集定員 ●普通科/360名
●衛生看護科/40名
●科目履修生/制限なし
検 査 面接・作文
問い合わせ・申込先 県立山口高等学校通信制課程
TEL/083-922-8519

ふれあい夢通信編集部より

早いもので2005年も残りわずかとなりました。来年も「ふれあい夢通信」をご愛読くださいますようお願い致します。ご意見・ご感想をお待ちしています。

「ふれあい夢通信」編集部
山口県教育庁 教育政策課教育企画室
〒753-8501 山口市滝町1-1
TEL/083-933-4531 FAX/083-933-4539
Eメール:a501001@pref.yamaguchi.lg.jp

ふれあいの掲示板

～子どもたちと一緒に参加、見学できるイベント案内～

イベントカレンダー

掲載期間▶2005年12月～2006年3月

1 山口県教育研修所(山口市) ☎083(987)1190

「天体観測入門(5組・6組)」

開催日▶5組:2/23(18:30～20:00) 6組:2/24(18:30～20:00)

対象:一般(中学生以下は、保護者同伴) 定員:各組20人 締切:開催日の1週間前まで

1 山口県立山口博物館(山口市) ☎083(922)0294

テーマ展「花鳥図の世界」

開催日▶1/11(土)～2/12(日) 9:00～16:30(入館は16:00まで)

休館日:毎週月曜日 12/23(土)・12/28(土)～1/4(土)

考古学教室「古代のアクセサリを作ろう」

開催日▶1/22(日) 13:30～16:00

対象:一般(小学生以下の場合は保護者同伴) 定員:20名 締切:1/12(土)

2 山口県立萩美術館・浦上記念館(萩市) ☎0838(24)2400

シリーズ山東文物6 鏡の中の宇宙

開催日▶12/10(土)～3/12(日)

休館日:毎週月曜日(祝日の場合は翌日)12/26(土)～1/2(日)

3 大島青年の家(周防大島町) ☎0820(76)0913

「ゴクケン!大島 海の幸に舌鼓」PART1

開催日▶1/21(土)・22(日)

対象:親子・グループ可 定員:30名 締切:1/6(土)

「ゴクケン!大島 海の幸に舌鼓」PART2

開催日▶1/28(土)・29(日)

対象:親子・グループ可 定員:30名 締切:1/13(金)

4 油谷青年の家(長門市) ☎0837(32)1000

北浦名産かまぼこづくり

開催日▶2/25(土)・26(日)

対象:小・中学生とその家族 定員:40名 締切:2/10(土)

2 萩青年の家(萩市) ☎0838(22)4730

「体感!維新のロマン～萩ガラス・パート2～」

開催日▶2/18(土)・19(日)

対象:家族及び個人(中学生以上) 定員:30名 申込み期間:1/13(土)～2/2(土)

「にこにこ元気ランド～大きなあれジャガイもさん～」

開催日▶3/12(日)

対象:幼児(年中・年長)とその家族 定員:12家族50名 申込み期間:1/27(土)～2/16(土)

5 秋吉台少年自然の家(美東町) ☎08396(2)0581

「自然にいどむ!パート2」～手打ちうどんと洞くつ探検～

開催日▶1/21(土)・22(日)

対象:小学4年～6年生 定員:30名 締切:1/12(土)

「早春!秋吉台山焼き体験」

開催日▶2/19(日)

対象:小学生以上の親子 定員:40名 締切:1/27(土)

6 十種ヶ峰青少年野外活動センター(阿東町) ☎08395(8)0033

冬の十種ヶ峰に挑戦

開催日▶1/28(土)・29(日)

対象:小学校4年生～中学校3年生とその保護者 定員:40人 締切:1/14(土)

親子でつくる冬物語

開催日▶2/4(土)・5(日)

対象:家族 定員:80人 締切:1/21(土)

詳しい内容については、各施設にお問い合わせください。



招待券プレゼント

県立萩美術館・浦上記念館の「シリーズ山東文物6 鏡の中の宇宙」の招待券をペアで10組20人の方にプレゼントします。住所、氏名、年齢、職業、電話番号、本誌の感想・意見を記入し、はがきでご応募ください。

送付先▶「ふれあい夢通信」編集部
「招待券プレゼント」係

締切り▶1月12日(金)必着

※なお、当選者の発表は、発送をもって代えさせていただきます。